

平成 28 年度 3 学期修了式校長講話（要旨）

3 学期の大きな行事は、2 年の修学旅行でした。10 月の実施予定が台風のために 1 月に延期になったけれど、逆にいい体験ができたと思います。人生でもいろいろな事情で思い通りにいかない事があるけれども、ピンチを乗り越えて、逆にそれをチャンスに変える考え方をして欲しいと思っています。また、先日の芸術鑑賞では、オーケストラの代表の方から生徒の鑑賞態度がとても素晴らしいとお褒めの言葉をいただきました。挨拶をすることや人の話を真摯に聴くことで人を喜ばせることができるということを忘れないでください。

昨年はグリットという言葉が話題になりました。「物事を最後までやり遂げる力」のことです。様々な分野で成功した人が共通に持っている力だと言われています。これからの世の中は、AI やロボット技術の進化、IOT の普及により大きく変化していきます。今後 20 年間で、現在ある職業の約半分が無くなるだろうと言っている学者もいます。そういう時代を生きていくために必要な力は何なのか、どういう能力を身に付ければいいのかよく考え、グリットを身に付けてこれからの時代を強く逞しく生き抜いて欲しいと考えています。

2 年生は来年、最上級生になります。最上級生として相応しい行動をとって、部活動や学校行事や進路で 1・2 年生の目標となる成果をあげて欲しいと思っています。1 年生は 2 年生になり、学校の中核を担う存在になり、後輩もできます。しっかりした行動をとって、新入生が早く学校に慣れ、いい後輩になるようにいろいろと教えてあげてください。